

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築施工実習 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	赤石 辰夫 他			実務 経験	有	職種	施工管理／一級建築施工管理技士□				
担当教員紹介											
<p>建設会社で現場監督として勤務し、2階建ての信用金庫支店から14階建ての高層住宅まで様々な施工管理を担当。また超高層RC造の技術開発にも参加し、日本建築センターの技術評定でも施工を担当した経験を持つ。</p>											
授業概要											
<p>基本的に自分で考えて施工に関する各種の計画やそれに応じた指示が出せるようになるため、個人ごとに作業をこなして作品にすることを積み重ねる。また、工事現場の見学を行い、実際の工事現場に触れて作業の流れや職人の動き方、安全に対する対策などについて体感し講義で再確認する。</p>											
到達目標											
<p>仮囲い・足場の知識と、必要な仮設機材・建設機械についての知識を身につける。また、施工図の写図を行うことで作図手順や必要な寸法の定め方を学び、施工管理業務の一端を知ることにより興味を深めることが到達目標である。</p>											
授業方法											
<p>基本的に自分で考えて施工に関する各種の計画やそれに応じた指示が出せるようになるため、個人ごとに作業をこなして作品にすることを積み重ねる。また、工事現場の見学を行い、実際の工事現場に触れて作業の流れや職人の動き方、安全に対する対策などについて体感し講義で再確認する。</p>											
成績評価方法											
試験・課題	60%	課題の成果物について総合的に評価する									
レポート	20%	現場見学の理解度を確認するために実施する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>実際の工事に関する情報を用いて講義が進むので、図面や現場の所在地・設計内容などについて守秘義務を守ること。資料の取り扱いにも注意を払い、無くしたり内容が流出することの無いように取り扱うこと。また現場見学の際は、事故が起きないように安全に注意し、第三者とのトラブルを避けるために必ず指示に従うこと。</p>											
教科書教材											
2級建築施工管理技士学科テキスト											
回数	授業計画										
第1回	仮設計画 仮囲い 単管、クランプ、ジョイント、ベース、パネルゲート										
第2回	地盤調査、建築測量 ボーリング、サウンディング、標準貫入試験、平板差異化試験、縄張り、遣り方、墨出し										
第3回	仮設計画 足場 本足場（単管および枠組み）、一側足場、くさび緊結式足場										
第4回	建設機械計画 揚重計画、掘削計画、運搬計画										
第5回	現場見学1 工事現場見学（仮設計画）										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築施工実習 1	
第6回	総合仮設計画 仮囲い、パネルゲート、揚重計画、現場事務所、ストックヤード
第7回	土工事・山留工事・地業 根切り、排水、床付け、砂利地業、親杭横矢板、鋼矢板、SMW、水平切梁、腹起し
第8回	施工図(躯体図1) 鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事
第9回	施工図(躯体図2) 躯体図の理解と作図手順
第10回	施工図(躯体図3) 躯体図の理解と作図手順
第11回	現場見学2 工事現場の見学(躯体工事)
第12回	施工図(天井伏図1) 天井インサート、軽量鉄骨下地、プラスターボード下地、仕上げ工事など
第13回	施工図(天井伏図2) 天井伏図の理解と作図手順
第14回	施工図(天井伏図3) 天井伏図の理解と作図手順
第15回	工事計画 施工計画、工程計画、品質計画、安全計画概要